

おおくま

10
2015(平成27年)
No. 519

未来へのレール

— JR常磐線で試験除染 —

今月の主な内容

特	集	②~⑤
ふるさと瓦版		⑥~⑦
まちの話題		⑩~⑪
KIZUNA おおくまふれあい通信		⑫~⑮
お知らせ		⑯~⑳

クイズ「目指せ! おおく MASTER ★」



おおちゃんクイズ(地域問題) Q・伝統芸能「熊川稚児鹿舞」の鹿役は何人?
くうちゃんクイズ(方言問題) Q・「くらつける」の意味は?

(紙面のどこかに答えがあるよ)

JR常磐線で試験除染

全線復旧を目指して来年3月まで



JR東日本は常磐線の全線運行再開に向けて8月20日、町内の帰還困難区域内にある線路周辺の除染試験施工を始めました。

除染が行われているのは、常磐線の夜ノ森駅（富岡町）―双葉駅（双葉町）間に位置する町内の6カ所です。空間放射線量は最大で毎時30マイクロシーベルト。帰還困難区域、居住制限区域、避難指示解除準備区域と線量が同等の地点を2カ所ずつ選んでいます。線路の構造についても盛土、切取の区間が3カ所ずつ選ばれました。

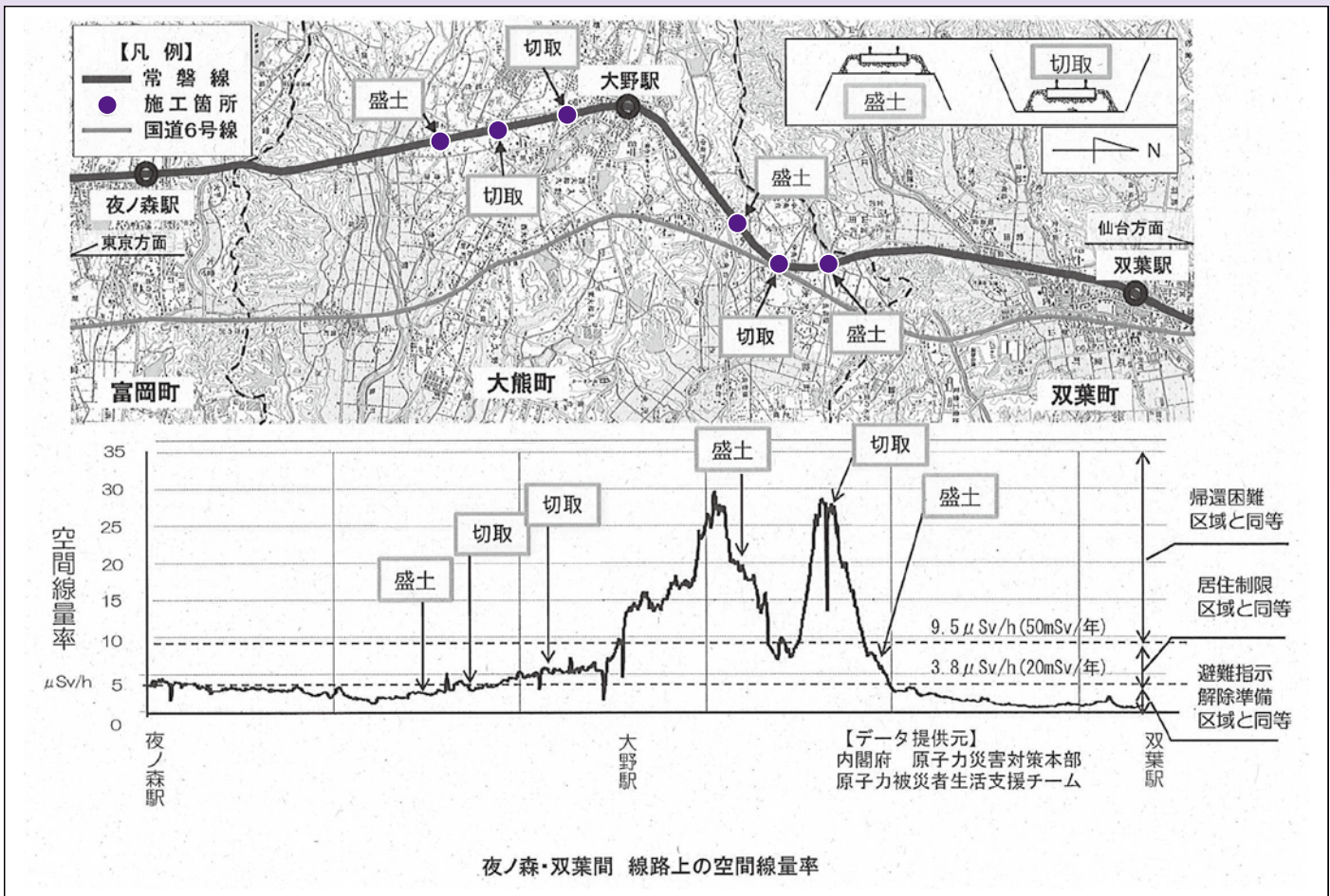
除染試験施工では大きく分けて「撤去・除去」と「復旧・保護」の2つの作業が行われます。レールや枕木などを撤去した後、表層土の除去、さらにその下に

あるのり面の除草や表層土を取り除きます。その後、のり面の保護や表層土の復旧を行い、レールや枕木を取り付け直します。

町は9月2日、夫沢で行われた予備試験に立ち会いました。モルタル、碎石、アスファルトなど、のり面の保護や表層復旧に用いる材料によって、放射線の遮へい効果がどのように変わるのかを確かめる試験が、現場で行われていました。

除染試験施工の期間は来年3月までとなっています。JR東日本は結果を分析し、より効果的な除染方法を確認した上で、不通の続く富岡駅（富岡町）―浪江駅（浪江町）間が早期に再開できるよう、検討を進めるとしています。

■試験除染の実施場所■



略図：J R東日本提供

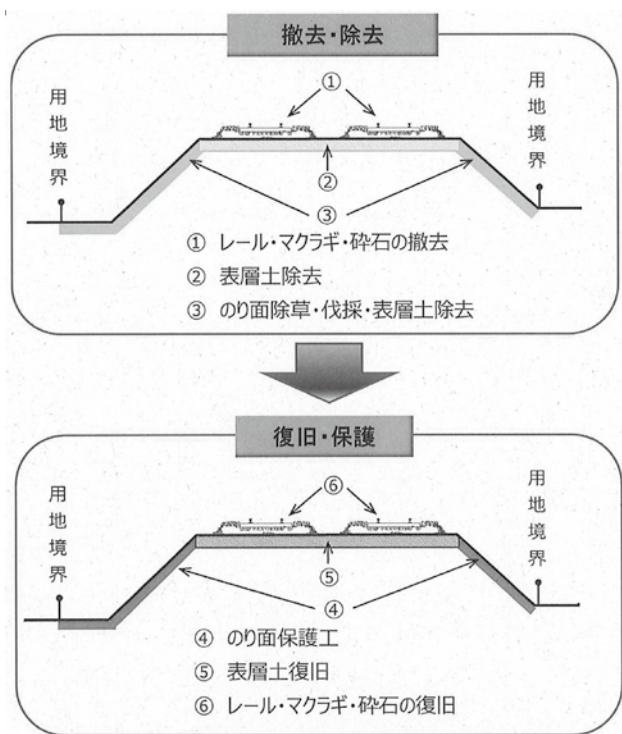
仮置き場予定地立ち会い

9月2日は除染で発生した撤去・除去物を一時保管する仮置き場予定地の立ち会いも行いました。予定地は町スポーツセンター敷地内で、仮置きに必要な広さなどを確認しました。

表紙の写真

J Rの除染試験施工は常磐線の全線再開を目指す壮大なプロジェクトですが、その作業は気が遠くなるほど膨大で、地道なものです。作業が滞りなく進み、浜通りに復興を引き寄せることを願うばかりです。

■標準的な除染試験施行例■



「おおくま交流会」

8月22日・宮崎県宮崎市



8月23日・福岡県福岡市



9月5日・北海道札幌市



福島から遠く離れた九州、北海道で避難生活を送る町民を対象とした「おおくま交流会」が8月から9月にかけて相次いで開かれました。原発事故による避難から4年半が過ぎ、古里とのつながりが次第に薄れゆく中、久々に同郷の方たちと気兼ねなく言い慣れた方言で語り合いました。

九州での交流会は8月22日に宮崎県宮崎市、翌23日に福岡県福岡市で開催されました。宮崎会場となった道の駅フェニックスには9人が参加。市内に避難している山田定さん一家を中心に普段から連絡を取り合っていることもあり、アットホームな雰囲気での会が進みました。町内の地図を見ながら思い出話をしたり、海をバックに記念撮影をしたりしました。

福岡会場の博多バスターミナルには福岡県や大分県から13人が参加。町役場職員や

復興支援員、地元支援団体のメンバーを交え、震災から4年半の間に経験したことや現在の避難生活のことなどを話していました。小さなお子さんが多く参加し、にぎやかな雰囲気となりました。

北海道での交流会は9月5日、札幌市のアスティ45で開かれました。参加者9人は、北海道ならではの気候や住まいのこと、そして、これまでの避難生活とこれからの生活のことなどを語り合いました。

九州と北海道で初の



茨城県日立市

9月13日、茨城県日立市十王のたかはら自然塾で開催しました。晴天に恵まれたこの日、茨城県北部にお住まいの方を中心に16人が参加しました。参加者はおそろいの三角巾をつけ、バーベキューを楽しみました。「次回は餅つきをしたいね!」という声も上がっていました。



いわき市中央台

9月14日、いわき市中央台公民館で開催し、近隣に住む25人が参加しました。参加者同士、実は近所だったことが判ると、喜びの声を上げる場面もありました。参加者からは「バーベキューや餅つきをしたいね!」など、次を楽しみにする声が上がリ、終始なごやかな雰囲気の交流会でした。

■インタビュー

忘れ去ることはできない

—宮城県宮崎市に避難—

山田 定さん

私は人生のほとんどを大熊で過ごしてきた。町内なら目をつぶっても歩けるくらいだ。放射線量や廃炉、中間貯蔵施設のことなどで簡単に帰れないことは分かっているが、古里を簡単に捨てることはできない。こちらでは新聞でもテレビでも福島のことを報じられる機会は少ない。

こちらに住む人たちと電話で連絡を取り合い、花見や誕生パーティーなどを開いて交流している。同じ境遇にある人たちが集うと、話題は尽きない。九州では鹿児島県や大分県などにも避難している人がいて、わずかな人数だから交流会を頻繁に開くわけにはいかないだろうが、何年たっても同郷の人たちが集まれば記憶がよみがえり、心も癒やされる。みんな遠く離れても、町を完全に忘れ去ることはできないはずだ。町には今後も避難者の心の支えとなるような取り組みを続けてほしい。



もっと町民と話がしたい

—大分県由布市に避難—

小園江 秀哉さん

出身は東京だが、仕事で大熊町のことを知って、すっかり気に入って町内に家を求めた。定年後、先に住んでいた家族と合流して住んだが、1年半ほどで震災が起きた。一時的な避難を頼って九州に来たが、そのまま九州に留まらざるを得ず、その後、今のところ避難者としてお世話になっていたので、なるべく目立ちたくなく

たのだが、遠く福島から来た私たちが、何が珍しかったのか、何度もマスコミ取材を求められた。取材を求められた。知り合いの町民と連絡を取りたかったが、連絡先が分からず諦めたことが何度かあった。やはり大熊町の皆さんに会うとホッとす。同じ双葉郡内でも別の町村とは事情や考え方が微妙に違い、本音で話せない部分もある。主催する町は大変だと思うが、やっぱり大熊の方たちと、もっと話がしたい。



瓦版

かわらばん

町内で着々と進む復興などの様子を、国・県・町が一体となりお知らせします。

今回は下野上地区周辺 95ヶ所の拠点除染着手・農水省視察研修・町内パトロール・家屋調査・中間貯蔵施設について紹介します。

◆除染について◆

○環境省は8月28日から、下野上地区周辺95ヶヶタールの拠点除染を開始しました。

○初日の作業では、大野小校庭を除染しました。30人ほどの作業員らが、ショベルカーなどで表土の剥ぎ取りを実施しました。

また、石原伸晃前環境相が作業の様子を視察しました。

○家屋敷地の土は、試験施工による確認を行った結果、7センチの剥ぎ取りおよび覆土を実施することとしました。

下野上地区周辺 拠点除染に着手



校庭の表土剥ぎ取り作業

○田畑の表土剥ぎ取りについては現在、試験施工を実施しており、確認後、広報でお知らせします。

○現在、平成27年度復興拠点除染等工事が必要となる仮置き場の場所を熊川地区内で調整しています。

【お問い合わせ先】

福島環境再生事務所 会津支所
☎ 0242 (23) 7970

大熊町役場いわき出張所

復興事業課

◆農林水産省新人職員

避難地域等現地視察研修◆

○9月4日、農林水産省にこの春に入省した新人職員3人が大川原の復興拠点を視察しました。

大熊町管内、大川原地区整備計画、復興拠点等の説明を受けた後、質疑応答を行いました。農地利用の計画や復興拠点整備にかかる諸問題について質問がありました。

原子力災害の被災地を直接目にし、被災自治体の復興の前に立ちほだかる壁の高さ、多種多様な障害について、実感いただけたと感じています。



視察研修の様子

ふるさと

おおくま 定点観測

～坂下ダムから～

町内の様子を
特定の撮影場所から
毎月写真で紹介しま
す。今回は坂下ダム
からの風景です。



台風が本州を縦断した9月9日、坂下ダムを訪れました。辺りは霧が立ち込め、数十メートル先も見通せません。午前中に激しく降った雨で、ダムの水位は約180ミリ上がったそうです。訪れたときは雨がひどくとき止み、静寂に包まれた幻想の世界でした。水辺に近づくと、濡れた芝のにおいが鼻をくすぐりました。水面から届く風が心なしか肌寒いです。秋の気配を感じました。

◆町内パトロール通信◆町内の道路を除草

○国道6号、県道、町・農道の除草が行われています。
町民の皆さんの一時帰宅に支障が出ないように、国・県・町ともに維持管理を実施しています。



国道6号除草作業

○担当課でも毎月道路パトロールを行っていますが、町民の皆さんの情報が一番です。

今後とも、皆さんが気持ちよく通行できるように努めますので、通行に支障のある場所など、お気付きの点がございましたら、情報提供をよろしく願います。

【お問い合わせ先】

大熊町役場いわき出張所

復興事業課

◆家屋調査について◆

○除染をする区域の家屋の解体を希望する場合は、損壊状況調査（家屋調査）が必要です。

【お問い合わせ先】

大熊町役場会津若松出張所 税務課

◆中間貯蔵施設について◆

○9月1日現在、いわき市から大熊町の保管場への試験輸送（パイロット輸送）を行っています。

【お問い合わせ先】

福島環境再生事務所

中間貯蔵施設等整備事務所 調査設計課

☎024(5663)1203

大熊町役場会津若松出張所 環境対策課

ら出されます。

ガンマ線は、ベータ線よりさらに遠くまで飛びます。止めるには厚い鉛の板などが必要になります。ガンマ線を出しているものとしては放射性セシウムがあり、私たちの放射線防護対策の中心となる対象物質です。

土壌に残る放射性物質は主にセシウムですから、ガンマ線とベータ線が放出されますが、皆さんが通常使っている積算線量計は、ガンマ線しか測定されません。このためセシウム134、セシウム137から出されるベータ線は測定されていません。

以下の結果は、ベータ線も測定できる特別な測定器で空間線量率を測定した結果です。

(表2)

場所	空間線量率 (μ Sv/h)			地面の状態
	ガンマ線のみ	ベータ線のみ	合計	
夫沢字中央台	14	56	70	アスファルト
夫沢3区公民館	33	20	53	砂利
夫沢3区公民館	14	53	67	アスファルト
小入野字東大和久	100	80	180	土(草むら)
小入野字東大和久	6	17	23	アスファルト
小入野字東大和久	55	30	85	土(草むら)

* 遮へい体を使用して地面からの影響のみを測定
地面から高さ1cmでの線量率の測定を行った。
また、測定当日は降雨後であり地面は濡れていた。

測定した場所によって測定値に大きな差があることがわかります。加えて、場所によってはガンマ線に比べてかなり高いベータ線が放出されている場所があることもわかります。具体的にいうと、除草などで地面に手を近づけたりすると、思いがけずベータ線の影響を受けるおそれがありますので、注意が必要です。

ここがポイント

町内の土壌に含まれる放射性物質のほとんどは放射性セシウムで、試料を採取した場所により大きな差があることがわかります。

地面には放射性セシウムが雨や風に流されてたまったホットスポット（周囲に比べ、非常に放射性物質の濃度が高い場所）があり、そのような場所ではベータ線も高い可能性があります。

除草等で地面に近い体勢になると、手先などがベータ線の影響を受ける可能性もありますが、通常使用している積算線量計では測定できません。ベータ線による被ばくの危険性があることに注意が必要です。

教えておおちゃん

放射性物質



Part 6 町内に残る放射線の種類は？

町内に残る放射性物質にはどんなものがあるのでしょうか。町が昨年行った調査では、土壌中の放射性物質のほとんどは放射性セシウムでした。

それ以外では、例えばプルトニウム238やストロンチウム90も、ごくわずかですが検出されています。しかし、これらの放射性物質は、過去の核実験等により放出された可能性もあり、原発事故由来とは判断できないとされています。

(表1)

土壌中放射性物質濃度測定結果 (乾土)									
採取日		平成26年7月28日～平成25年9月15日							下段〇内数値は検出限界濃度
前処理日		平成26年7月31日～平成25年9月16日							
測定日		平成26年8月4日～平成26年9月22日							
No.	試料名	I-131	Cs-134			Cs-137		Cs-134/Cs-137	
		濃度 (Bq/kg) 乾土	濃度 (Bq/kg) 乾土	沈着量 (Bq/m ²)	濃度 (Bq/kg) 乾土	沈着量 (Bq/m ²)			
1	夫沢字東台 田	検出限界未満 (500)	55,000 ± 1,000	1,700,000 ± 0	0	160,000 ± 0	4,800,000 ± 0	0.3542	
2	熊川字久麻川 畑	検出限界未満 (310)	23,000 ± 0	890,000 ± 20,000	20,000	65,000 ± 1,000	2,500,000 ± 0	0.3640	
3	小良浜字高平 田	検出限界未満 (230)	13,000 ± 0	670,000 ± 10,000	10,000	36,000 ± 0	1,800,000 ± 0	0.3778	
4	サンライト南東産業道路空地	検出限界未満 (580)	78,000 ± 1,000	3,000,000 ± 0	0	230,000 ± 0	8,800,000 ± 0	0.3409	
5	熊町小学校グラウンド	検出限界未満 (400)	39,000 ± 0	2,000,000 ± 0	0	110,000 ± 0	5,600,000 ± 0	0.3571	
6	熊字錦台 田	検出限界未満 (240)	11,000 ± 0	330,000 ± 10,000	10,000	31,000 ± 0	920,000 ± 10,000	0.3656	
7	小入野字東大和久 田	検出限界未満 (330)	29,000 ± 0	1,500,000 ± 0	0	84,000 ± 1,000	4,400,000 ± 0	0.3409	
8	大熊中学校グラウンド	検出限界未満 (190)	11,000 ± 0	790,000 ± 20,000	20,000	30,000 ± 0	2,200,000 ± 0	0.3682	
9	熊字旭台 公園	検出限界未満 (170)	8,400 ± 200	580,000 ± 10,000	10,000	24,000 ± 0	1,700,000 ± 0	0.3471	
10	夫沢字中央台 田	検出限界未満 (820)	160,000 ± 0	5,000,000 ± 10,000	10,000	470,000 ± 0	25,000,000 ± 0	0.2004	
11	下野上字北向 田	検出限界未満 (340)	23,000 ± 0	990,000 ± 20,000	20,000	64,000 ± 1,000	2,800,000 ± 0	0.3607	
12	野上字秋葉台 田	検出限界未満 (210)	11,000 ± 0	590,000 ± 10,000	10,000	31,000 ± 0	1,700,000 ± 0	0.3529	

町内にある放射性物質からは、どのような放射線が出ているのでしょうか？

代表的な放射線の「アルファ線」「ベータ線」「ガンマ線」について、少し説明します。

アルファ線はプルトニウム238などから出ます。空気と衝突すると止まるので、空気中では数センチしか飛びません。言い換えれば、少し離ればアルファ線の影響を受けることはありません。

ベータ線は、アルファ線に比べると遠くまで飛びますが、薄いアルミやプラスチックの板などで遮ることができます。主にストロンチウム90やセシウム134、セシウム137などが

大熊中生が読書座談会

いじめと思春期の心の成長を描いた絵本「ジェーンとキツネとわたし」をテーマにした読書座談会が8月18日、会津若松市の大熊中仮校舎で開かれました。生徒11人や教職員、勉強会で訪れていた東大生らが参加しました。物語はいじめを受けている主人公が新しい友人を得て変わっていく様子を描いています。同校は全校挙げて「いじめゼロ」に取り組んでおり、生徒は印象に残った場面や言葉などを自由に述べ合っていました。



絵本の感想を語り合う生徒ら

長野出身の大学生ら、大熊の現状学ぶ

首都圏の大学に通う長野出身の学生が8月25日、町役場会津若松出張所を訪れ、全町避難が続く大熊町の現状に理解を深めました。学生は東京・高円寺にある同県の学生寮「信濃学寮」の寮生や留学生ら約40人。毎年行っている交流旅行を、今年は東日本大震災の被災地巡りとしました。出張所では、町の担当職員が震災直後の様子や町が直面する課題などを説明すると、メモを取ったりうなずいたりするなどして真剣に聞き入っていました。



大熊の現状を学ぶ学生ら

熊本の大学生が児童と交流

熊本県内の大学生らによるボランティア団体、キッズサポート熊遊隊（ゆうゆうたい）が8月22日から31日まで会津若松市を訪れ、熊町小・大野小児童と交流しました。訪問は今回が10回目で、今回は代表の勝見治彦さんと学生7人がワゴン車で20時間以上かけて到着。期間中は授業中の勉強を手伝ったり休み時間に一緒に遊んだりして児童と楽しい時間を過ごしました。児童は学生にすっかり懐き、お別れときは名残惜しそうにしていました。



登校する児童とあいさつする学生

順大の看護学生が園児と交流

順天堂大学医療看護学部のティエイベアクリニックスサークルに所属する学生12人が8月28日、会津若松市の大熊町立幼稚園を訪れ、園児と交流しました。同サークルの町立幼稚園訪問は、今回で3回目。ぬいぐるみを患者に見立てた「病院ごっこ」で病院に対する不安を和らげたり、手洗い励行など保健教育の読み聞かせを行ったりしました。園庭に出て様々なゲームも行い、園児たちはお姉さんたちと楽しい時間を過ごしていました。



看護学生と交流した園児



復興拠点の説明を受ける菅原事務次官（右）

経産事務次官が大川原を視察

経済産業省の菅原郁郎事務次官が9月2日、町が現地復興拠点と位置付ける大川原地区を視察しました。鈴木茂副町長が町の復興整備計画に基づく大川原の将来像について説明。菅原事務次官は「いろいろなもの動き始めていると感じているのを見て安心した」と述べました。ほかに帰還困難区域の除染、中間貯蔵施設の用地交渉、避難先での町民のコミュニティ維持などについて町側と意見を交換しました。

関東のツーリング団体、今年も寄付

関東のツーリング愛好家団体「群嶺飛通輪颯隊（ぐればびツーリングたい）」は9月8日、町役場会津若松出張所を訪れ、町に見舞金を届けてくださいました。同団体による寄付は今回で5回目です。メンバーが経営する飲食店などに募金箱を置くなどして寄付を集め、本県への復興祈願ツーリングで届けてくれました。今回は17人が参加。岡田博樹代表は「震災、原発事故の記憶が風化しつつあるからこそ、ささやかでも続けたい」と話していました。



町に浄財を届けたメンバー



盆踊りで盛り上がった納涼祭

好間第一仮設住宅で納涼祭

いわき市の好間第一仮設住宅で8月22日、納涼祭が開かれました。太鼓の音色に誘われてだんだん人が集まり、屋台では定番の焼きそばやフランクフルトなどを食べながら交流しました。子どもたちは射的やヨーヨー釣りに夢中になっていました。締めには盆踊りが行われ、踊り慣れた人も初めての人も輪になって踊りました。踊る人も、演奏の皆さんも、見ている皆さんからも笑顔があふれていました。

若松の中学生が役場で職場体験

会津若松市立若松三中の2年生4人が9月9日から11日まで、町役場会津若松出張所で職場体験に臨みました。訪れたのは、公務員の仕事に関心があるという物江海音君、志賀敦哉君、平野凌君、大竹優輝君。原発事故による避難当時の状況について職員から直接話を聞いたり、新聞や町の資料を参考に震災と原発被害の違いについて考えたりしました。最終日には各課に分かれて実際の業務も体験。将来の進路に役立つ3日間となったようでした。



町職員の業務に触れた中学生

KIZUNA おおくまふれあい通信

第30号

東日本大震災と、それに伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により、大熊町は全町避難を余儀なくされ、私たちは今も、全国各地に分散して不自由な生活を強いられています。

長期化している避難生活、先行き不透明な状況の中で、ふるさと「おおくま」に対してどのような想いを抱いているのか、直接避難先へ訪問してインタビュー取材を行い、本紙に掲載させていただいています。

「KIZUNAおおくまふれあい通信」を通して届けられた想いを共有し、ふるさと「おおくま」と皆さまを「絆～きずな～」でつないでいくことができれば幸いです。

※株式会社鹿島印刷所（南相馬市）の記者が避難先を訪問し、インタビュー取材をさせていただいています。

※掲載する文章は、インタビューした内容をもとに記者が作成しますので、インタビューをお受けいただいた方が文章を作成する手間はございません。



「KIZUNAおおくまふれあい通信」で、 あなたの想いを伝えてみませんか？

KIZUNAおおくまふれあい通信では、避難されている皆さまへ想いを伝えていただける方を募集しています。避難先での活動や避難生活で感じていることなど、あなたの想いをこのコーナーでお話してください。大熊町民の方ならどなたでも結構ですので、ご連絡をお待ちしています。

応募先

大熊町役場会津若松出張所総務課秘書広聴係
電話：0120-26-3844 FAX：0242-23-7093
E-mail：somu@town.okuma.fukushima.jp



福島県 いわき市

まつもと かずひこ
松本 一彦 さん

自宅は下野上2区（通称「焼山」）。大熊町消防団では、技術分団長を務めている。震災発生後は、勤務先からの帰宅直後、消防団活動に合流した。一被災者・大熊町民として、2人の子を持つ父親として、国会の原発事故調査委員会に参考人として招致され、率直な意見を述べた。



私は東京電力の関連会社に勤務してまいりました。福島第二原発で工作中、震災に遭遇しました。勤務先に日没あたりまで待機しましたが、幼い息子たちが心配だったため、国道6号線など道路が損壊している中、同僚数人とともにヘルメットに安全靴姿で歩いて大熊を目指しました。同僚らと別れ、自宅近くの実家で、幼い息子たちをはじめ家族全員の無事な姿を確認できたときは、とても安心しました。家族の姿を見届けるとすぐに、役場に向かつて消防団活動に合流し、町民の皆さんを避難所に誘導したり、町内の道路損壊箇所の応急処置や交通誘導などを行いました。その後、体育館で行方不明のご家族がいる方々のお世話をしましたが、不安に襲われている方々に、何もしてあげることができず、自分の無力さを感じただけでした。

翌早朝、個人的な行動ではありませんでしたが、行方不明者を捜すため夫沢海岸付近に向かいました。しかし、集落全体が破壊されてしまったという現実を目の当たりにし、茫然とするだけでした。その後、理由も分らず町外避難となり、皆さんの誘導をしましたが、その頃は、まさか第一原発が爆発するとは思いませんでした。最後に町を出た町民の方を見届け、各消防団員は各避難所に向かい、私は田村市総合体育館の運

営に当たりました。この避難所は大熊町民向けとはなっていました。それ以外からの避難者もいました。配給される食料や物資に限りがあり、全員に行き渡らなかつた時には、本当に申し訳ない気持ちでいっぱいでした。

避難後、私たち一家は町の皆さんともに行動してきましたが、やはり、少しでも故郷の近くにいたいと思い、後ろ髪を引かれる思いでしたが、今年4月、約4年間お世話になった会津若松市から、いわき市内に移りました。

震災から4年半以上経過しましたが、第一原発は、まだ事故の収束に至っていません。全ての関係者がこの国の電力安定供給のために行ってきたことが、原発事故という未曾有の大惨事となり、長年、原発で働いてきた者の一人として、皆さんに大変申し訳ない気持ちでいっぱいです。

避難開始以降、多くの皆さんに支えられてきました。そうした温かい気持ちには、心より厚く感謝申し上げます。そして何より、町民の皆さん同士が支えあう「やさしさ」「強さ」といった気持ちがあったからだと思います。私自身、一人でできることには限界はありますが、感謝の気持ちをお忘れず、皆さんが日常生活を少しでも取り戻せるように、微力ながら努力を続けたいと思います。



福島県 会津若松市

さかい つねお
坂井 常雄 さん

自宅は野馬形区。双葉農業高校（現・双葉翔陽高校）在学中、馬術部に所属していたことが縁で、相馬野馬追祭に出場している。

震災後の平成24年以降も出場を続けている。



私は中学校を卒業後、大熊町にあった県立双葉農業高校に進学し、馬術部で活動しました。当時、相馬野馬追祭で大熊町からの騎士として同校馬術部員が出場することが慣例になっていたため、1年生の時、標葉郷の一員として参加しました。

高校卒業後は乗馬、野馬追の両方からしばらく遠ざかっていましたが、20歳を過ぎたころ、野馬追祭に出場し続けている先輩から、また出てみないかと声をかけられました。その頃、大熊町からは毎年15騎前後出場していましたが、年々出場者の確保が難しくなっていたため、出場経験があり地元に残っている人を探していたそう

で、私に声がかかりました。
大熊町として参加する行事のため、馬や道具は町が用意してくれるものの、夏の暑い中、甲冑を身にまとい、馬という生き物を相手にするのは簡単なことではありません。しばらく馬に乗っていないため不安もありましたが、町の文化を守り、その姿が町の皆さんに少しでも喜んでもらえればという気持ちで、思い切って挑戦することにしました。

久しぶりに馬に触れ、その懐かしい息遣いに高校生のころ覚えた感覚が何となく呼び起され、数年ぶりの再出陣は問題なく果たすことができました。それ以降、平成22年まで毎年出場し続け、初めのう

ちは借りものばかりだった馬具や甲冑を少しずつ買い揃え、震災の前年には、ようやく一式全てを揃えることができたばかりでした。出場するごとに汗抜きや補修など多くの手間がかかるようになりますが、その分、愛着が生まれ、まるで分身のようです。そのため、避難で町を離れてからは、野馬追の道具類はどうなっているのか、とても不安でした。初めての一時帰宅では制限が多く、虫や動物、カビなどの被害がないかどうか確認するだけでしたが、その後、無事に持ち出すことができました。

被災した年は避難後で生活そのものが落ち着かず野馬追どころではありませんでしたが、翌24年から大熊町の一員として出場を再開し、以降、出場し続けています。今年、当町から出場したのは4騎で、会津若松市からは教育長と私だけでした。

当町では、震災によって野馬追祭への出場者確保がより難しい状況になってしまいました。是非、若い方が出場に手を挙げ、故郷の文化継承のため、共に力を合わせていただきたいと思います。

野馬追に出場していることが縁で、会津や関東各地で開催される祭りに参加する機会がありますが、またいつか、大熊に戻って祭りや行事ができるような日が来ればいいなと思っています。



福島県 会津若松市

むらかみ ふみや
村上 史弥さん

大熊中学校3年生

自宅は熊川区。震災当時は熊町小学校4年生。

中学校ではソフトテニス部に所属している。

昨年度、町の国際交流事業「おおくま希望の翼」に参加した。



中学校に入学後、部活動はソフトテニス部に入部しました。入学当時は男女別々でしたが、部員数が減ってしまつたため昨年度、統合されました。今年度、私たちの学年は引退し、新入部員も数人しかいないため規模が縮小されましたが、一人でもできる種目なので、後輩たちには頑張つて続けてほしいと思います。

ソフトテニスを始めたのは小学校低学年の頃です。父がソフトテニスの愛好者だったこともあり、小学2年生の時、町スポーツ少年団のソフトテニスクラブを見学に行ったことがきっかけです。同クラブへの参加条件は小学3年生以上だったため、そのまま入部することはできませんでしたが、上級生や指導者がやって見せてくれたラケットやボールのさばき方が格好良く見えました。簡単な体験をさせもらっただけでしたが、とても楽しいものでした。当時小学生だった兄はサッカーをしていましたが、そちらには全く興味がなく、私は小学3年生になるとすぐにスポーツ少年団でソフトテニスを始めました。しばらくして試合に出る機会がありました。幸い、ダブルスで組んだ相手との相性が良く、大会で優勝したこともありました。

で、それまでの活動がプツリと切れてしまいました。私たち一家は会津若松市で生活を始めましたが、同級生はバラバラになってしまいました。

その年の夏ごろ、スポーツ少年団が再開され、またソフトテニスができるようになりまし。大熊では、季節に関係なく雨が降らない限り、外で思う存分練習できましたが、若松では冬になると満足に練習をすることができません。中学生になつてからも部活動で続けましたが、スクールバスの運行スケジュールや体育館の利用時間などがあるため、思うように活動することができませんでした。

昨年夏休み、町の国際交流事業「おおくま希望の翼」に参加しました。約1週間、オーストラリアに滞在し、ホームステイをしながら様々な体験をしてきました。初めての外国に緊張し、もつと英語が上手だったら充実した日々を送れたのになと思うこともありましたが、気候、土地や建物の広さの違いなど、日本では考えられない常識がたくさんありました。

夏休みが過ぎ、高校入試が近づいてきました。私は話すことが好きで、将来、声優のような職業に憧れています。幅広い知識を必要とするので、しっかりと勉強して高校受験を成功させ、夢に一步でも近づくように頑張っていきたいと思っています。

生活応援物資をお届けします

町民の皆さんの生活の一助として、生活応援物資（県産米などの食品）をお届けします。

◆対象世帯

平成23年3月11日時点の住民基本台帳登録者で避難先世帯の代表者

◆配布方法と時期

ゆうパックで12月から順次発送予定

◆配布先

9月24日からハガキで各世帯の代表者にお伝えしていますが、物資を必要とされる皆さんに確実にお届けできるように、次の確認事項に該当する方は10月13日(火)までにご連絡をお願いします。
※該当しない方は連絡不要です。10月13日時点で町に登録されている届出避難先住所へ送らせていただきます。

(確認事項)

- ・12月までに避難先を変更予定の方
- ・現在お住まいの住所と届出避難先住所が異なる方
- ・応援物資が不要な方

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所 生活支援課

トムトム商品券の払い戻しについて

株式会社富岡ショッピングプラザ「トムトム」では、資金決済に関する法律第20条第1項に基づき、トムトム商品券(500円券・1000円券)の払い戻しを受け付けています。簡易書留郵便で、トムトム商品券払戻申出書(請求書)と未使用商品券を同封し、平成28年2月15日(当日消印有効)まで次の送付先へお送りください。
※トムトム商品券払戻申出書(請求書)は、当月広報誌に同封してあります。

◆払戻対象商品券

トムトム商品券(500円券・1000円券)

◆申し出期間

10月1日(木)～平成28年2月15日(月)

◆申し出方法

トムトム商品券払戻申出書(請求書)に必要な事項を明記の上、未使用商品券を同封し、次の送付先へ簡易書留郵便でお送りください。

◆払い戻し方法

払戻申出書(請求書)が到着後、14日以内にご指定の金

融機関口座へ、商品券額面金額に簡易下記郵便料金を加えた金額を振り込みます。

送付先・お問い合わせ先

〒970-8026

いわき市平字童子町4番地の10

莫谷会計事務所内

(株)富岡ショッピングプラザ

払戻係

☎0246(85)5758

※受付時間：午前9時～午後5時(土・日・祝日除く)

平成28年度奨学資金給付学生を募集します

大熊町在住または大熊町出身の高校生(卒業生を含む)で、経済的理由により大学進学が困難と認められる者に奨学資金を給付(返済の必要がない)し、教育の機会均等を図る一助とすることを目的として、希望者を募集します。

◆受付

9月28日(月)～10月30日(金)

◆対象者

平成28年度大学入学予定者

◆資格および基準

- ①生活の主体者が、引き続き5年以上大熊町に住所を有していること

②生計を同じくする世帯全員の所得総額が、過去3年間でそれぞれ490万円以下であり、町税など滞納がない者

③在学する(していた)高校長の発行する大熊町給付奨学生推薦調書において、心身が健全で向学心に富み、かつ、成績平均が、総点の7割程度以上であること

④小論文および面接において成績優秀な者

◆選考

資格および基準のすべての要件を満たす者の中から若干名の給付者を教育委員会が設置する選考委員会で決定します。

◆給付額

毎月5万円(4年間)なお、初年度に限り1回、入学金として10万円。

◆願書

大熊町役場会津若松出張所教育総務課にお申し出ください。

お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所 教育総務課

労働困りごと相談会が開催されます

皆さんの職場の中で起きている賃金や労働時間などの労働条

中間貯蔵施設に係る 弁護士 無料相談会のご案内

開催場所	開催日	開催時間	所在地
大熊町役場 会津若松出張所	平成27年 10月23日(金)	午後2時から 午後5時	会津若松市追手町2番41号 (相談会場：2階 第4会議室)
大熊町役場 いわき出張所	平成27年 10月16日(金)	午後2時から 午後5時	いわき市好間工業団地1番地43 (相談会場：2階 会議室2)
ビッグパレット ふくしま(郡山市)	平成27年 10月22日(木)	午後2時から 午後5時	郡山市南2丁目52番 (相談会場：小会議室1)

町では中間貯蔵施設の建設に伴い町民の皆様が抱える不安や諸問題に対応するため、弁護士による相談会を開催します。当該施設建設に伴う権利関係等の疑問点について、無料で相談することができます。

■相談できること

中間貯蔵施設建設に伴う契約、地上権、相続等について

※法律相談であり、補償価格に関する相談はできませんのでご了承ください。

◆対象者

大熊町内の中間貯蔵施設建設予定地内に不動産(土地・建物)を所有されている方

◆相談料

無料

◆相談時間

1回につき50分以内

(各会場3組までの事前予約制)

◆申込方法

事前予約の先着順になりますので、左記までご連絡をお願いします。

■申込み・お問い合わせ先

大熊町役場会津若松出張所 企画調整課

※受付時間：午前8時30分から午後5時15分

(平日のみ)

件、解雇、退職等の労働に関する困りごとや疑問などに関する相談会を実施します。相談は無料です。また、秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

◆日時

10月18日(日)

午前9時～午後5時

◆現地相談会

福島会場

県労働委員会事務局(福島市中町8-2 自治会館4階)

郡山会場

郡山市労働福祉会館(郡山市虎丸町7-7)

※現地相談会は10月16日(金)

午後5時まで事前予約を受け付けています(予約なし)

でも相談をお受けします。

◆電話相談

県内全域

☎024(521)7594

※労働困りごと相談は平日の来所、電話やEメール等で随時受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

お問い合わせ・事前予約先

福島県労働委員会事務局

(福島市中町8番2号 福島県自治会館4階)

☎024(521)7594

Eメール

roundousoudan@pref.fukushima.lg.jp

roundousoudan@pref.fukushima.lg.jp

roundousoudan@pref.fukushima.lg.jp

roundousoudan@pref.fukushima.lg.jp

roundousoudan@pref.fukushima.lg.jp

roundousoudan@pref.fukushima.lg.jp

roundousoudan@pref.fukushima.lg.jp

第6回目

男塾のおしらせです!

秋の味覚がおいしい季節となりましたが、いかがお過ごしですか?

第6回目の男塾は「七日町散策」を行います!是非ご参加ください。

日時 10月13日(火)午前9時30分～正午

場所 ゆっくりすっぺ集合

内容 七日町散策(雨天決行)

参加費 無料

参加者 60歳以上の男性

申込み 10月6日(火)まで申し込みください

※定員20人になり次第締め切らせていただきます。

【お問い合わせ先】

大熊町役場 会津若松出張所 地域包括支援センター

☎0120-26-3844

制度のご案内

・加算支援金

住宅の再建方法		建設・購入	補修	賃借（公営・仮設・借上げを除く）
支給額	複数世帯	200万円	100万円	50万円
	単身世帯	150万円	75万円	37.5万円

◆申請について

・申請期限

(1) 基礎支援金…平成28年4月10日まで

(2) 加算支援金…平成30年4月10日まで

※基礎支援金の申請期間が平成28年4月10日となっておりますが、解体がこの期間内に終了しないと「半壊解体」として申請できないため、当町をはじめ郡内各市町村および県においても、更なる申請期間の延長を国に求めています。

・申請に必要な書類

(1) 基礎支援金

①被災者生活再建支援金支給申請書

②り災証明書（原本）

③住民票

④振込先口座の写し（口座番号・名義人フリガナ記載部分）

(2) 加算支援金

住宅の建設・購入、補修または賃借が確認できる契約書の写し

住宅の再建方法が決まっていない場合などは、基礎支援金と加算支援金を2回に分けて申請することができますが、基礎支援金の申請期間内に「基礎支援金」の申請を済ませていないと、加算支援金の申請もできなくなりますので、ご注意ください。

【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 生活支援課

相馬税務署から

◆平成22年から平成26年分の所得税等の申告相談について

相馬税務署では、平成22年から平成26年分の所得税（及び復興特別所得税）、消費税、贈与税及び相続税の確定申告がお済みでない方からの申告相談を受け付けております。まだ申告がお済みでない方やご不明な点がある方は、まずは税務署までお電話等によりお問い合わせください。

◆東京電力(株)から支払いを受ける営業損害（将来分）に対する賠償金の所得税上の取扱い等について

避難指示等により業務に従事することができなかったことやいわゆる風評被害などによる減収分に対して支払いを受ける賠償金は、事業所得等の収入金額になります。

新たな営業損害賠償として一括で支払いを受ける営業損害（将来分）に対する賠償金※1については、一定の事実が生じた場合には精算するこ

とが予定されているため、その精算の対象期間（5年11月）中の時の経過に應じ、精算の対象期間中の各年分の収入※2として事業所得等の収入金額に算入します（中小法人の収益計上時期についても同じです）。

※1 平成27年3月（避難指示区域外にあつては平成27年8月）以降将来にわたる損害に対して、減収率100%の年間逸失利益の2倍（避難指示区域外にあつては直近の減収にもとづく年間逸失利益の2倍）が一括して支払われることとされています。

※2 毎月、賠償金の額の60分の1相当額を60か月にわたり事業所得等の総収入金額に算入することになります。

◆申告書の便利な作成方法について

所得税、消費税及び贈与税の確定申告書の作成に当たっては、国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」

被災者生活再建支援

この制度は、大熊町でお住まいになられていた住宅が、東日本大震災で全壊、大規模半壊、半壊し、やむを得ず解体した世帯の方々に生活再建支援の支援金を支給するものです。

◆被災者生活再建支援制度について、

被災者生活再建支援制度は、自然災害（※）により居住する住宅が全壊するなど生活基盤に著しい被害を受けた世帯に支援金を支給し生活の再建を支援する制度です。

※自然災害とは地震、津波による災害（原子力発電所事故による長期避難は対象外となります）。

◆大熊町で支給対象となる世帯

- ・平成23年3月11日時点で大熊町に居住していた世帯で、地震や津波により住宅が全壊した世帯
- ・住宅が大規模半壊となった世帯
- ・住宅が半壊し「やむを得ず」家屋の解体をした世帯（以下「半壊解体」と言います）

※「やむを得ず」とは建物の倒壊のおそれ、家屋の修繕に高額の費用がかかる場合です。既に大規模半壊で請求された方も、「やむを得ず」家屋の解体をした場合には、半壊解体と同じ扱いになりますので、差額分を申請することができます。

※「半壊解体」の方が申請できるのは、解体が済んだ後です。

※全壊、大規模半壊、半壊の判定は、全てり災証明書の判定に準じます。

◆支援金の支給額

- ・基礎支援金

住宅の損害程度		全壊	大規模半壊	半壊解体
支給額	複数世帯	100万円	50万円	100万円
	単身世帯	75万円	37.5万円	75万円

見守り機能付き歩数計 利用申込のお知らせ

見守り機能付き歩数計の申込を随時受け付けておりますので、次の利用条件を満たす方で利用を希望される場合は、申し込み先までご連絡ください。



<利用条件>

- ・現在または平成23年3月11日時点で大熊町に住民票をお持ちの方
- ・60歳以上（昭和30年12月31日以前にお生まれの方）、または障害者手帳、療育手帳をお持ちの方
- ・見守り機能付き歩数計を持っていないこと（利用できるのはひとり1台まで）

【お申し込み・お問い合わせ先】大熊町タブレット相談室
フリーダイヤル 0800-800-0907
(受付時間 月～金 9:00～17:00)

が便利です。
作成コーナーで申告書を作成して紙に印刷し、税務署へ郵送等により提出することができます。申告書の作成・計算誤りの防止、来署される納税者の皆さまのご負担も軽減できますので、是非とも国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」をお試しください。
※平成27年分については、平成

28年1月に掲載予定です。
国税庁ホームページはこちら
↓ <http://www.nta.go.jp>
お問い合わせ先
相馬税務署 〒979-0800
相馬市中村字曲田02-2
☎0244(36)3111(代表)
※電話によるご相談やお問い合わせは、平日の午前9時から午後5時まで受け付けています。

いわきのまちをきれいに する市民総ぐるみ運動

いわき市では、市民一人ひとりが自らの手でまちをきれいにすることを通じ、環境美化に対するモラルの向上を図ることを目的とし、毎年2回市民の皆様による清掃活動を実施しております。

つきましては、東京電力福島第一原子力発電所の事故の影響により、いわき市に避難をされている皆様にも当運動の趣旨をご理解いただき、お住まいの地区のいわき市住民と一体となった協働作業への積極的な参加をお願いいたします。

◆日程

- 10月23日(金)～25日(日)
- ※雨天の場合は翌週へ延期…
- 10月30日(金)～11月1日(日)
- 10月23日(金)：清潔な環境づくりをする日(学校や事業所周辺の清掃)
- 10月24日(土)：自然を美しくする日(海岸や河川の清掃)
- みんなの利用する施設をきれいにする日(公園や道

路の清掃)

- 10月25日(日)：清掃デー(市内の全家庭周辺の清掃)

◆参加方法

- (1) 仮設住宅等にお住まいの方が「団体」として参加される場合
実施計画書をいわき市へご提出願います。(詳しくはお問い合わせください)
- (2) 民間借上住宅等にお住まいの方が「個人」として参加される場合
お住まいの地区の区長や行政嘱託員、隣組長等に清掃参加の意志をお伝えし、地区の住民と一緒に作業を実施していただきます。

なお、地区の都合により作業日が異なりますので、事前に区長等にご確認願います。
また、区長等の代表者が不明な場合は、いわき市までお問い合わせください。

お問い合わせ先

いわき市役所
ごみ減量推進課庶務係
☎0246(22)7259

消防署から

住宅用火災警報器の維持管理は大丈夫ですか？
いざという時のために、点検しましょう！

◆作動点検のポイント

- 警報器にある「ボタンを押す」または「引き紐をひく」ことで、警報音がきちんと鳴るかどうか確認しましょう。
- 警報器は、本体もセンサー等に寿命があります。点検時に音が鳴らないときは、電池切れや本体の寿命により、故障している場合がありますので、その際は交換が必要です。
- 最低1年に1回は点検を行ってください。また、点検の際は、実際の警報音がどんなものかを家族で確認しましょう。

◆正確・確実な119番通報をしましょう!!

- 火災でも救急でも、住所は正確に。例えば「〇〇町〇〇字〇〇番地〇〇号」「〇〇仮設住宅〇〇棟〇〇号室」と伝えてください

い。住所がわからないときは、近くにある目標物を伝えてください。
※仮設住宅にお住まいの方は、仮設住宅名、部屋番号を伝えてください。

「〇〇が燃えています」「誰が〇〇の状態です」と、状況を教えてください。

※通報の際は慌てず、落ち着いて消防職員の問いかけに応えてください。

お問い合わせ先

浪江消防署
☎0240(34)7360
富岡消防署
☎0240(25)2119

復興支援ドリム コンサート

東日本大震災復興支援ドリムコンサートが11月23日、いわき市で開かれます。小金沢昇司ほか豪華キャストによる演歌歌謡祭をぜひお楽しみください。入場にはチケットが必要です。

◆日時

11月23日(月・祝)

- 第1部 午後0時30分開場、1時開演
- 第2部 午後4時開場、4時30分開演

◆会場

いわき芸術文化交流館アリオス中劇場

◆出演

小金沢昇司、半田浩二、穴戸マサル、北沢健

◆料金(全席指定)

前売り券 1階席5000円
2階席4500円
当日券 1階席5500円
2階席5000円

◆チケット取り扱い

アリオスチケットセンター
☎0246(22)5800
(午前10時～午後8時
毎週火曜定休)

鹿島ショッピングセンター
エブリア インフォメーション
チケットぴあ(Pコード:273-688)

お問い合わせ先

株式会社プランアターナー
☎0246(38)6860

らいぶらり LIBRARY途中読書の旅

～本を1冊持って旅に出よう～

大熊町は震災以前から読書活動に力を入れてきました。読書にはさまざまな効果があることはご承知の通りだと思います。大熊町がこのような状況のときだからこそ本を読んで豊かになりませんか。

初ぶらりは茨城県北茨城市の天心記念五浦美術館になりました。道中は一冊の本を読書しながら文学にふれ、現地に到着後は岡倉天心や横山大観の日本画作品を自由に鑑賞する文化の旅です。

ご家族やご夫婦でぜひ御参加ください。昼食は海が近いので新鮮な魚介類の海鮮丼や天丼などが堪能できます。きっと心が（お腹も）豊かになるぶらり旅と一緒にでかけましょう。

日 程

- 日 時** 10月24日（土） 8：00 大熊町役場会津若松出張所集合
- 参加費** バス代、入館料は無料（昼食代のみ各自）
- 参加対象** 大熊町民 定員30名（応募人数が20名以下の場合中止とします。）
- 時 程**
 - 8：10 大熊町役場前出発（大型バス）
 - 10：25 天心記念五浦美術館着
 - 10：30 自由時間
（昼食は各自）
※美術館の前に地魚料理店、少し歩くと大盛海鮮丼・大盛海鮮天丼のお店があります
 - 14：30 天心記念五浦美術館出発（大型バス）
 - 16：45 大熊町役場会津若松出張所到着
 - 17：00 解散
- 応募方法** 電話、FAXにて大熊町役場教育総務課までお申し込みください
- 応募期間** 平成27年9月18日（金）～10月9日（金）

【お問い合わせ先】

大熊町役場会津若松出張所 教育総務課
担当 渡部 友彦

福島県議会議員一般選挙・大熊町長選挙・大熊町議会議員一般選挙は

11月5日告示、11月15日投票です

選挙の投票場所・時間等について

11月に行われる選挙の投票場所・時間等についてお知らせします。なお、選挙の詳細については、10月下旬に郵送する「選挙のお知らせ」にも掲載します。

◆期日前投票所

投票所名称	所在地	日 時
大熊町役場会津若松出張所	会津若松市追手町 2 番 41 号	11月6日(金)～11月14日(土) 午前8時30分～午後8時
大熊町役場いわき出張所	いわき市好間工業団地 1 番地 43	11月6日(金)～11月14日(土) 午前8時30分～午後7時
福島県相双地方振興局	南相馬市原町区錦町一丁目 30	11月7日(土) 午前11時～午後4時
開成山陸上競技場	郡山市開成一丁目 5 番 12 号	11月7日(土) 午前11時～午後4時
福島県青少年会館	福島市黒岩字田部屋 53 番 5 号	11月8日(日) 午前11時～午後4時
ホテルサンルート白河	西白河郡西郷村道南東 7 番地	11月8日(日) 午前11時～午後4時

◆当日投票所 (11月15日(日))

投票所名称	所在地	日 時
大熊町役場会津若松出張所	会津若松市追手町 2 番 41 号	午前7時～午後7時
大熊町役場いわき出張所	いわき市好間工業団地 1 番地 43	午前7時～午後6時
郡山市労働福祉会館	郡山市虎丸町 7 番 7 号	午前9時～午後6時

◆投票立会人の募集

選挙の投票立会人になっていただける方を募集しています。詳しくは大熊町公式ホームページ又は広報おおくま 7 月 1 日号をご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしています。

【お問い合わせ先】大熊町選挙管理委員会（総務課内）

行政相談委員による相談所を開設します ～行政相談週間～

10月19日（月）から25日（日）までの1週間は「行政相談週間」です。
行政相談は、役所（国、県及び市町村）や特殊法人等の仕事に関し、苦情や困っていること、心配なこと、分からないこと、要望したいことなどについて相談に応じ、その解決をお手伝いするものです。

行政相談委員はいつでも相談に応じていますが、次の場所で相談所を開設しますので、お気軽にご利用ください。また、電話等で相談をしたい方は、総務課行政係へお問い合わせください。

※無料・秘密厳守



【町行政相談委員】
佐久間国幸さん

会 津	日 時	10月27日（火）午前10時30分～午後3時
	場 所	大熊町役場会津若松出張所 2階第4会議室
い わ き	日 時	10月29日（木）午前10時30分～午後3時
	場 所	大熊町役場いわき出張所 1階会議室

【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 総務課

国勢調査にご協力ください

国勢調査は、わが国に住んでいるすべての人と世帯を対象とし、5年ごとに行われる国の最も重要な統計調査です。

今回の調査は、東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電事故後初の調査になるため、震災等の影響や復興の状況を把握する重要な調査になります。

国勢調査は住民票に関係なく、現在住んでいる市区町村での調査となります。そのため震災後、大熊町に住民票がある方で他市区町村に避難されている方は、その市区町村での調査になります。各市区町村の調査員がお宅へ伺い、書類の配布等を行っております。

ご協力をお願いいたします。

【お問い合わせ先】
大熊町役場会津若松出張所
企画調整課

相馬流れ山踊りの踊り手を募集しています

相馬野馬追祭で披露されます相馬流れ山踊りを、来年度は、標葉郷（大熊町、双葉町）が担当することになっています。

しかし現在、町民が分散しているため、人数を集めるのに大変苦慮しています。

相馬流れ山を踊ってみたい方、ぜひ参加してみませんか。

大熊町流れ山踊り保存会では、踊り手を募集しています。

参加を希望する方は、次までお申し込みください。

- ◆披 露 日 平成28年7月24日（日）
- ◆大熊町練習 5回程度（いわき、会津等）
- ◆双葉町との合同練習 3回程度
- ◆申 込 締 切 10月30日（金）

※参加はボランティアでお願いします。（旅費、謝礼等はありません。）

【お問い合わせ先】
大熊町役場会津若松出張所教育総務課
☎0120-26-3844

スタートします

○「個人番号カード」の交付申請方法

「個人番号カード」の交付申請には3つの方法があります。どの方式でも、本人確認のため1度窓口にお越しいただく必要があります。(15歳未満のお子様、施設で長期療養中の方など、代理人による申請が認められる場合があります。詳しくは「通知カード」に同封のパフレットをご覧ください)の上、大熊町住民課住民係にご確認ください)

避難先市区町村の窓口では、交付時に本人確認する方法に対応していないため、遠方に避難されている方には、申請時に避難先市区町村の窓口で本人確認する方法をお勧めします。

会津若松市、いわき市、二本松市、その近隣市区町村に避難されている方は、大熊町役場の窓口で申請ください。大熊町役場の受付窓口は、会津若松出張所住民課、いわき出張所及び中通り連絡事務所のマイナンバー受付窓口となっています。

1：申請時に本人確認する方法

通知カードが到着しましたら、通知カードに同封された個人番号カード交付申請書に記入の上、大熊町役場の窓口か、避難先市区町村の窓口にお越しください(通知カードの送付先に、ご家族の居所など、避難先市区町村と異なる住所を設定されている方はご注意ください)。

窓口には、通知カード、交付申請書、本人確認できる身分証明書、証明書用顔写真(申請日の6カ月以内に撮影した無帽、正面から撮影、無背景のもの)を持参ください。身分証明書の種類、顔写真のチェックポイントなど詳しいことは、通知カードに同封のパフレットを参照ください。

カード交付申請時は駐車場が混み合いますので、公共交通機関を利用されるか、乗り合いにご協力ください。平成28年1月以降、個人番号カードが発行されましたら、本人限定の簡易書留で郵送されます。

2：交付時に本人確認する方法

通知カードに同封された個人番号カード交付申請書に記入の上、郵送していただく方法、または、お手持ちのスマートフォンやパソコンで申請いただく方法です。

個人番号カードが発行されましたら、交付通知ハガキを郵送します。交付通知ハガキが到着しましたら、交付通知ハガキ、通知カード、本人確認できる身分証明書を持って、交付通知ハガキに記載の交付場所(大熊町役場の窓口)にお越しください。

3：勤務先集団申請

会社にお勤めの方は、会社がまとめて集団申請を行う場合があります。詳しくはお勤め先にご確認ください。

「個人番号カード」を申請する際は、それまでにお使いの「通知カード」を、大熊町へ返却していただきます。「住民基本台帳カード」をお使いの方は、「住民基本台帳カード」も返却していただきます。

※「通知カード」に同封のパフレットには「2：交付時に本人確認する方法」に基づいた説明のみ掲載される予定です。他の申請方法でも、必要書類はほぼ同様です。不明な点につきましては、パフレットに記載のコールセンター、大熊町住民課住民係にお問い合わせください。

【お問い合わせ先】大熊町役場会津若松出張所 住民課住民係(内線547)

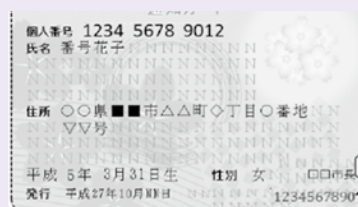
マイナンバー制度が

◆「通知カード」が送付されます◆

住民の皆さまのマイナンバー（個人番号）をお知らせする「通知カード」が10月から順次、皆さまの避難先へ送付されます。

○「通知カード」とは何ですか？

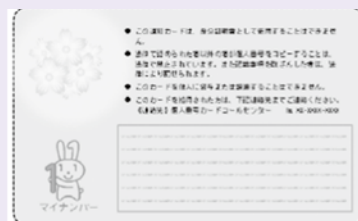
皆さまのマイナンバーと氏名・住所・生年月日・性別が印刷された、紙製のカードです。



○「通知カード」で何ができますか？

平成28年1月から、行政手続きや社会保障の手続きを行う場面において、マイナンバーの提示を求められるようになります。「通知カード」を窓口までお持ちいただくことで、スムーズにマイナンバーの確認が行えるようになります。

また、企業などにお勤めの方は、今後勤め先から本人と扶養親族のマイナンバーを報告するよう求められる機会があります。報告を求められた際には「通知カード」に記載されたマイナンバーをお伝えください。



10月以降に、婚姻届などを提出する際には「通知カード」に印字された内容を修正しますので、忘れずに「通知カード」を役場窓口までお持ちください。また「通知カード」を紛失したり破損した場合は、再発行の手続きをしますのでご連絡ください。（再発行には手数料がかかります）

「通知カード」は、「個人番号カード」の交付申請時にも必要となりますので、大切に保管してください。

◆「個人番号カード」の発行の申請を受付けます◆

○「個人番号カード」とは何ですか？



皆さまのマイナンバー・氏名・住所・生年月日・性別と顔写真などが印刷され、ICチップが内蔵されているプラスチックカードです。大熊町に住民票を有している皆さまが取得いただけます。10月以降「通知カード」到着後より申請を受付け、平成28年1月から「個人番号カード」の発行・交付を開始します。平成28年3月まで発行手数料は初回のみ無料、再発行は有料です。

○「個人番号カード」で何ができますか？



「通知カード」と同じように、皆さまが行政手続きや社会保障の手続きを行う場面などにおいて、個人番号の確認として提示いただけます。

その他にも本人確認の顔写真付き身分証明書として利用できるほか、電子申請を行える機能も搭載しています。平成28年2月からは「個人番号カード」を使用し、コンビニエンスストアで、住民票、戸籍（全部、個人、附票）、印鑑証明書、所得課税証明書等を交付するサービスを開始する予定です。

顔写真を印刷するため「個人番号カード」には、有効期限を設定しています。20歳以上の方は発行から10回目の誕生日まで有効です。20歳未満の方は5回目の誕生日まで有効です。

また、コンビニエンスストアでの証明書交付やe-Taxなどで使用する電子証明書は、年齢に関係なく発行から5回目の誕生日まで有効です。

平成27年度10月、11月の 一時立入りのご案内

一時立入りを実施する際には事前予約が必要となりますので、実施スケジュールをご確認のうえ、コールセンターへお電話でお申し込みください。

(平成27年度から電話番号が変わっています。ご注意ください。)

※後期（10～3月分）の案内文書は各世帯主様へ個別に発送しております。

※後期分より立入りの上限回数が「年間15回」から「**年間30回**」となります。

※実施スケジュールや最新の予約状況は、専用HP(<http://www.ichijitachiiri.com>)でご覧いただけます。

※立入り当日は**必ず**中継基地で受付を行ってください。中継基地にて、**通行証**、個人線量計、防護装備等をお渡します。

※お帰りの際には、中継基地にこれらを返却していただくとともに、スクリーニングを受けていただきます。

なお、マイカーによる立入りは、**立入り希望日前日の20:00（土日・祝日は17:00）まで**にお申し込みください（**予約がない方の立入りは認められません**）。また、立入り日当日の受付はできません）。

また、バスによる立入りは、**各月のバス立入り初日の1か月前まで**にお申し込みください。

【一時立入り受付コールセンター】

●電話番号：**0120-025-161（フリーダイヤル）**

●予約受付時間：**平日8:00～20:00、土日・祝日8:00～17:00**

- ・平成27年度から電話番号が変わっています。ご注意ください。
- ・お盆・お彼岸などは、立入りの安全確保等の観点から、基地ごとの受付上限世帯数を設けさせていただくことがあります。専用HP等でご確認ください。
- ・公益一時立入りの受付・お問い合わせは、これまでどおり各市町村にご連絡ください。
- ・資料の送付先を変更する場合は、必ずコールセンターに変更内容をご連絡ください。

予約時には問い合わせ番号をお伝えいただくと手続きがスムーズに進みます。問い合わせ番号は各世帯固有の番号となっています。

※立入り休止日にやむを得ない事情（命日による墓参立入等）により立入りを希望する場合は役場へ直接ご相談願います。

10、11月の一時立入りスケジュール(マイカー)

一時立入り実施スケジュール【平成27年10月分】 □…マイカー立ち入り、■…バス立ち入り、■…立入り休止

月		平成27年10月																														
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日		木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	津島活性化センタースクリーニング場																															
2	加倉スクリーニング場																															
3	高瀬スクリーニング場																															
4	中屋敷スクリーニング場																															
5	大川原スクリーニング場																															
6	高津戸スクリーニング場																															
7	毛萱・波倉スクリーニング場																															

一時立入り実施スケジュール【平成27年11月分】 □…マイカー立ち入り、■…バス立ち入り、■…立入り休止

月		平成27年11月																													
日		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜日		日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1	津島活性化センタースクリーニング場																														
2	加倉スクリーニング場																														
3	高瀬スクリーニング場																														
4	中屋敷スクリーニング場																														
5	大川原スクリーニング場																														
6	高津戸スクリーニング場																														
7	毛萱・波倉スクリーニング場																														

一時立入りスケジュール(バス)

2015年度バス立入り年間スケジュール

月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		3月	
日		8日	9日	5日	6日	3日	4日	7日	8日	25日	26日	23日	24日	20日	21日	18日	19日	17日	18日
曜日		金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	金	土	木	金
津島活性化センタースクリーニング場		浪江町津島地区の世帯の方のみ対応																	
加倉スクリーニング場	浪江町	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯	50世帯
	双葉町	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯
毛萱・波倉スクリーニング場	大熊町	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯
	富岡町	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯	40世帯

サロンに卓球台があるよ！身体を動かしに来てね！

梨の実サロン平



電話：0246-38-3236

住所：いわき市平字新田前 6-10

開所時間：平日 9:30～16:30

定休日：土・日・祝日

10月行事予定表

月	火	水	木	金
			1	2
5 卓球の日 10:00～ ※タブレット相談室 	6	7 健康体操 10:00～	8	9 出張！元気 アップ講座 ～肺の生活習慣病～ 10:00～11:30
12 休館日	13 カラオケ 13:30～ 	14	15 栃本一座紙芝居公演 13:00～	16
19	20 つながっぺサロン 9:30～11:30 ※タブレット相談室	21 ★健康料理教室 10:00～定員：12名 参加費：300円 エプロン・三角巾持参	22	23 ★寄せ植え教室 10:00～ 参加費：1620円 定員：10名
26	27 ★手芸教室 10:00～ 樹脂粘土で飾り作り 参加費：300円 定員：5名	28 ★ピラティス教室 14:00～ 参加費：無料 定員10名	29 	30

出張！タブレット相談室

10/5日(月)イベント終了後
10/20日(火)イベント終了後
タブレット相談室スタッフがみなさんの質問やお悩みをお聞きます。
タブレットをご持参の上お気軽にお立ち寄りください！

～つながっぺサロン～

皆さんで楽しい時間を過ごしませんか？
お茶会・レクリエーション・小物作りを用意しております。お気軽にお立ち寄り下さい。
大熊町社会福祉協議会

いわき大交流フェスタ

日付*10月31日(土)
時間*10:00～16:00
平体育館及び平市民運動場にて開催されます！
是非ご参加下さい！

★印は事前に申し込みが必要です！

イベント3日前までにサロンへお申し込み下さい(ー)
その他ご不明な点があればお気軽にお問い合わせ下さい！

☆ピラティス教室

身体のゆがみを整えて腰痛・肩こり・膝痛を
予防しよう！(ストレッチ・簡単な体操)
持ち物：手ぬぐい・温泉タオル・飲み物
服装：動きやすい格好
(伸縮性のあるもの)

インフルエンザ予防接種費用を助成します

インフルエンザ予防接種について、高齢者とお子さんの予防接種費用を助成します。詳しくは下記のとおりです。体調の良いときに早めに接種しましょう。



1. 季節性（高齢者）インフルエンザ（65歳以上の方に個別通知します。）

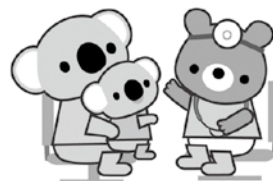
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・接種日に年齢が65歳以上の希望者 ・60歳以上65歳未満の方で心臓やじん臓・呼吸器に重い病気のある方の希望者、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫機能に障がいがある方の希望者（障がい者手帳1級程度の方）
接種対象期間	平成27年10月1日（木）～12月31日（木）まで
接種回数	1回のみ対象になります。
料金	対象者は無料です。
接種場所	各医療機関（接種の際は必ず予約を入れてください。）
接種方法	県内 <ul style="list-style-type: none"> ・予診票をお送りします。直接医療機関で接種できます。いわき市は10月15日から、会津若松市は11月2日からの接種になります。（他市町村につきましては各医療機関に確認してください。）
	県外 <ul style="list-style-type: none"> ・避難先登録市区町村の予防接種担当課に連絡して、接種手続きをしてください。 ・料金がかかった場合は、接種料金を還付いたします。その場合は、助成申請書・領収書（原本）・予診票（コピー）の3点を保健センターまで送付してください。

2. 小児インフルエンザ 注：任意接種ですので自費となりますが、接種費用全額を助成します。

対象者	生後6ヵ月～中学校3年生まで
接種対象期間	平成27年10月1日（木）～平成28年1月31日（日）まで
助成回数	6ヵ月～13歳未満→2回接種分（2回接種する方は、2回分まとめて申請してください。） 13歳以上～中学3年生→1回接種分
接種場所	各医療機関（接種の際は必ず予約を入れてください。）
持参物	母子（親子）健康手帳、保険証、診察券
備考	予診票は医療機関の予診票をお使いください。
申請方法	<ul style="list-style-type: none"> ・助成申請書は、会津若松・いわき・二本松の各事務所に備えてあります。郵送することもできますので、必要な方は保健センターまでご連絡ください。（ホームページにてダウンロードすることもできます。） ・予防接種費用を一度自己負担していただき、その後助成申請書・領収書（原本）・予診票（コピー）または母子健康手帳のコピー（接種日が記載されている部分）の3点を保健センターへ送付してください。 ※接種終了後1ヵ月以内に助成申請の手続きをしてください。

〈各健診日程【県内】〉

意向調査にて県内を希望された方には順次、「受診録」を送付します。



総合健診

地区	月日	受付時間	場所
いわき市	10月20日(火)	8:00～10:30	大熊町役場いわき出張所
	10月21日(水)	9:30～11:30	いわき・ら・ら・ミュウ 2階研修室
	10月22日(木)	9:30～11:30	グランパルティいわき(※平の結婚式場です。)
	10月23日(金)	8:00～10:30	大熊町役場いわき出張所
	10月24日(土)	8:00～10:30	大熊町役場いわき出張所
会津若松市	10月26日(月)	8:00～10:00	会津アピオスペース 展示ホール
	10月27日(火)		
	10月28日(水)		
郡山市	10月30日(金)	9:30～11:00	福島県農業総合センター 大会議室
	10月31日(土)		福島県農業総合センター 大会議室・多目的ホール

乳がん検診

地区	月日	受付時間	場所
いわき市	12月1日(火)	9:30～10:30	大熊町役場いわき出張所
		13:00～14:00	
	12月2日(水)	9:30～10:30 13:00～14:00	大熊町役場いわき出張所
会津若松市	11月13日(金)	9:30～10:30	河東保健センター
		13:00～14:00	
郡山市	11月27日(金)	9:30～10:30	河東農村環境改善センター
		13:00～14:00	
南相馬市	11月4日(水)	9:30～10:30 13:00～14:00	富田西地域公民館(富田西ふれあいセンター)
南相馬市	1月18日(月)	未定	未定(希望されている方には後日ご案内します。)

子宮がん検診

町が行っている集団検診は終了しましたが施設検診(医療機関で受診)を、いわき市では10月まで、会津若松市・郡山市・福島市・相馬地区では12月まで受診できます。

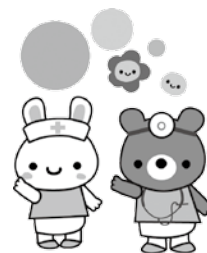
※施設検診では骨粗しょう症検査は行っていません。

県外

町が公益財団法人結核予防会に委託し、避難先の医療機関(結核予防会が契約している医療機関)にて受診できます。

案内につきましては、県が実施する「県民健康調査」と同時に、県外に避難されている方全員にお送りしています。(7月に発送済)

受診期間が1月31日までですので、早めに予約をし、受診してください。(申込期間は1月8日まで)



【お問い合わせ先】 大熊町役場 保健センター
 【会津】 0120-26-3844 【いわき】 0120-26-5671(保健衛生係)

平成 27 年度大熊町総合健診を実施します



～この機会に“自分のカラダ”と向き合ってみませんか？～

震災後「体重が増えてしまった」、「血圧が高くなった」等の声をよく耳にします。健診を受けていない方や受けてもそのままに…なんて方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか？
この機会に自分の健康状態を確認し、生活習慣を見直してみませんか？

特定健診を受けましょう

特定健診は40歳～74歳の方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健診です。生活習慣病である糖尿病・高血圧・高脂血症などは早期の段階ではほとんど自覚症状がないため、静かに進行していきます。そのまま放置すると、心疾患や脳血管疾患など命に関わる重大な病気を引き起こす危険が増大します。

がん検診を受けましょう

「がん」は日本人の死因の第1位です。2人に1人が「がん」にかかり、そのうち3人に1人が「がん」で亡くなっています。
しかし、早期発見・早期治療ができれば生存率を高めることができます。

大熊町実施の健診内容

健（検）診名	対象者および対象年齢	内 容
特定健診 （一般健診・後期高齢者健診） ※県民健康調査の「健康診査」を同時に実施したことになります	※保険の区分で呼び方が変わりますが、内容はほぼ同じです。 【特定健診】 ・40歳～74歳の国保加入者 ・40歳～74歳の社会保険の被扶養者（社会保険の被扶養者は受診券が必要です） 【一般健診】 ・20歳～39歳の国保加入者 ・20歳～39歳の社会保険の被扶養者 【後期高齢者健診】 ・75歳以上の後期高齢者医療保険加入者	身長・体重測定、尿、血圧、血液、眼底、心電図、腹囲測定、尿中塩分量測定（今年度から始まります！）等 ◎社会保険（本人）の方は町が実施する特定健診を受けることはできませんが、がん検診受診の方に限り「県民健康調査」を同時に受けることができます。
胸部検診 （結核検診） （肺がん検診）	65歳以上 40歳以上	胸部X線直接撮影（レントゲン）
胃がん検診	20歳以上	バリウムX線撮影
大腸がん検診	20歳以上	便潜血反応検査（2日間）
肺がん検診（喀痰）	40歳以上	喀痰検査（3日間）
前立腺がん検診	50歳以上の男性	血液検査
肝炎ウイルス検査	40歳の方、41歳～74歳の方で今まで受けていない方	血液検査
歯周病検診	20歳以上	だ液検査
胃がんリスク検診	40歳以上 ※今年度から始まります！	血液検査

アルコール家族相談会のご案内

お酒の問題で悩んでいませんか？その対応に困ってひとりで抱え込んでいませんか？

この相談会は、「ご家族が自分自身の生活を豊かにすることで、気持ちに余裕が生まれ、飲酒問題にも上手に対応できるようになる」ことを目的としています。

どんな相談会なのか、一度参加してみませんか。なお、教室で話された内容についての秘密は厳守されます。

日時・内容

実施日	内容	
【第1回】 平成27年 10月14日(水) 13:30～16:00	☆ミニ講座「アルコール依存症とは」 講師 雲雀ヶ丘 精神科医師 宮川 明美氏 ☆状況をはっきりさせよう！～飲酒行動マップづくり～ ☆家族交流・相談	
	13:30～13:50 〈初めて参加される方：入門編〉	14:00～16:00 〈継続して参加されている方〉
【第2回】 平成27年 11月17日(火)	☆状況をはっきりさせよう！ ～飲酒行動マップづくり～ 飲酒の引き金は何か、飲酒量を増やす原因は何か、どこで家族が巻き込まれてしまうのか、ワークシートに記入しながら把握していきます。	☆暴力への対策～安全第一～ ☆家族交流・相談
【第3回】 平成27年 12月16日(水)		☆コミュニケーションを変える ☆家族交流・相談



- ところ** 南相馬市原町保健センター（住所：南相馬市原町区小川町322-1）
- 対象者** アルコール依存症の方（あるいはその疑いのある方）のご家族
- 参加費** 無 料

【お申し込み・お問い合わせ先】 福島県相双保健福祉事務所 障がい者支援チーム
☎0244-26-1132

ふくしま不妊セミナーのご案内

日時

開催月日	時間	会場	問い合わせ先	参加申込締切日
平成27年 10月31日(土)	13:30 ～16:00	県北保健福祉事務所 福島市御山町8番30号	024-534-4155	平成27年 10月21日(水)
平成27年 11月14日(土)	13:30 ～16:00	会津保健福祉事務所 会津若松市追手町7番40号	0242-29-5278	平成27年 11月4日(水)
平成27年 12月5日(土)	13:30 ～16:00	県中保健福祉事務所 須賀川市旭町153番1	0248-75-7810	平成27年 11月25日(水)

- ◆**対 象** 不妊治療を受けている方、不妊治療を考えている方
- ◆**内 容** ・おしゃべり会 同じ悩みを持つ者同士、グループに分かれてのおしゃべり
・個別相談
福島県立医科大学 産科・婦人科学講座 医師 菅沼亮太氏
福島県立医科大学付属病院 不妊症看護認定看護師 尾形 優子氏
日頃の悩みやこれまで聞けなかったこと等を相談してみませんか？
- ◆**申し込み** 各保健福祉事務所に直接お問い合わせください

いわき出張所 各種催しのご案内

【お申し込み・お問い合わせ先】 大熊町役場いわき出張所
保健衛生係 ☎0120-26-5671



子育てひろば

- 日にち** 10月14日(水)27日(火)
- 時間** 午前9時30分～正午
- 場所** いわき出張所 2階
- 対象** 未就学児とその親、祖父母
- 内容** 14日:ヨガ(保護者対象)
27日:ママカフェ
*身長・体重測定
*離乳食や育児についての個別相談もできます
- 準備物** 14日:動きやすい服装、バスタオル、水分
- 申込み** 不要



こころの元気を育てる講座

いわき

民謡を楽しむ

- 日にち** 10月7日(水)
- 時間** 午後1時30分
～3時30分
- 会場** いわき出張所2階
- 内容** 大熊町民による三味線と民謡の演奏
- 申込み** 電話にて申込み



南相馬

足元から元気になろう

- 日にち** 10月29日(木)
- 時間** 午後1時30分～3時
- 会場** 南相馬市
原町生涯学習センター研修室
住所:原町区小川322-1
*駐車場あり
- 講師** 井上 三智さん
- 内容** 耳つぼマッサージと足の健康法
- 持ち物** バスタオル・手鏡
- 申込み** 電話にて申込み

会津若松市

大熊町のママさんサークル ママだってやってみ隊!

～次回イベントご案内～

- ◆日 時 10月20日(火)
午前9時～午後3時
- ◆場 所 一箕町長原地区仮設住宅
(午前8時50分)
- ◆内 容 秋の遠足(達沢の不動滝、恵日寺など)
- ◆費 用 無料(昼食、入場料は自己負担)
- ◆申し込み締め切り 10月16日(金)

【お申し込み・お問い合わせ先】
☎090-6259-7933 (阿部)
※平日午前10時～午後5時受付

会津若松市

おおくま町会津会

借り上げ住宅自治会「おおくま町会津会」は借り上げ住宅に避難されている町民の皆さまのための交流会を毎月第1、第3水曜日に開催しています。お気軽にご参加ください。

- ◆10月の開催日(両日とも午前10時から)
・7日(水)交流会・21日(水)北塩原・デコ平散策
- ◆場 所 おおくまサロン「ゆっくりすっぺ」
(会津若松市) ※21日は午前9時集合
- ◆内 容 町民同士の交流、情報交換など
※随時会員を募集しています。
- ◆持ち物 マイカップ、おむすび(昼食)

【お問い合わせ先】
☎080-7078-2327 (山本)

いわき市

いわきで大熊町民同士交流しよう! 大熊町いわき会!

大熊町いわき会では会員を随時募集しています!
※次回イベントは11月もしくは12月です!お楽しみに!

- ◆申込方法
お電話・ご郵送でのお申込みは随時承っています。
(お申込みにはお名前・ご住所・電話番号が必要です)

【お申し込み・お問い合わせ先】
☎070-5581-5939 (担当:富岡)
(〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43 大熊町役場いわき出張所2階)

いわき市

すまいるサロン

いわき市内に避難している皆さん!お茶会「すまいるサロン」を開催します。町民であればどなたでもご参加いただけます。初めての方は、ご連絡いただければ幸いです。

- ◆日 時 10月27日(火)
午前10時～午後3時
※ご都合のよい時間にお出かけください。
- ◆会 場 大熊町役場いわき出張所
2階調理室
- ◆主 催 すまいるサロン
- ◆持ち物 マイカップ、おむすび(昼食)

【お申し込み・お問い合わせ先】
☎080-1830-5567 (小林)

古滝屋温泉日帰りお茶会ご一緒しませんか

いわき市内にお住まいの町民の皆さん、温泉で一日お茶を飲みながらの交流会を毎月第三水曜に行っています。ご参加をお待ちしています。

- ◆日 時 10月21日(水) 午前10時～午後3時
- ◆場 所 古滝屋 ※人数がまとまれば、好間第三仮設から無料送迎バスあり
- ◆入浴料 800円(個人負担) ※タオルや昼食は各自準備

【お申し込み先】 ☎080-6007-6824 (市川)・☎090-5187-2234 (堀本)

茨城県

大熊町避難者コミュニティ 積小為大の会

10月の定例会は次の通り開催します。

- ◆日時 10月10日(土)
- ◆場所 ふたばワールド(楢葉町)に参加
- ◆移動 茨城県からはバスで移動します

※時間帯を含め、詳しくは浅野までお問い合わせください。

【お申し込み・お問い合わせ先】

浅野秀蔵(水戸市) ☎080-1657-7286
Email: syu-senya.takanori@coral.plala.or.jp

埼玉県

輪になろう!

ふみ出そう!

ひまわりサロン

- ◆日時 10月21日(水) 10:00~
- ◆日時 午前中はおしゃべりサロン、
午後は未定です。
- ◆場所 やすらぎ会館
(川口市南鳩ヶ谷6-8-16)

【お申し込み・お問い合わせ先】

ひまわりの会
☎080-5431-0123 (島田留守電)

下野上3区の交流会を開きました

8月29日、いわき市のホテル美里で下野上3区の交流会を開きました。約50人が参加し、和やかに懇談しました。久々に再会する人もおり、古里での暮らしを懐かしむなど楽しい時間を過ごしました。

席上、町行政区絆維持補助金事業の実行委員4人を以下の通り決めました。

・片倉莊次・小磯英位・伊東康次郎・伊東光子(会計)
絆維持補助金事業に関する資料を郵送します。ご不明なことがありましたら、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】片倉 莊次 ☎090-9633-9238



野上2区総会・懇親会のお知らせ

- ◆日時 10月30日(金)
- ◆開始時間 受付: 午後2時30分~
総会: 午後4時30分~
懇親会: 午後6時00分~
- ◆会場 磐梯熱海温泉・清稜山倶楽部
(郡山市磐梯熱海5丁目18番地)
☎024-984-2811
- ◆申込期日 10月10日(土)期日厳守
- ◆参加費 1人2,000円(今回は大熊町行政区絆維持補助金を利用させていただきます)

※夫婦や親子の同伴も可能です(返信葉書には住所、代表者氏名と参加人員を記入してください)。なお、報告のない方については「委任状」の扱いとさせていただきます。

【お申し込み・お問い合わせ先】

野上2区長・渡部幸悦 ☎090-2020-3724

下野上1区総会・懇親会のお知らせ

- ◆開催日 11月28日(土)
- ◆開始時間 午後4時~総会 終了次第、
懇親会(午後6時予定)
- ◆会場 ホテル美里(いわき市常磐湯本吹矢57-2)
☎0246-42-2181
- ◆参加費 1,500円
- ◆交通費 定額金額をお支払いしますので当日印鑑をご持参ください。

※再度、詳細案内を郵送しています。内容をご確認いただきご連絡ください。震災以降、初めての総会です。多くの区民の皆さんの参加をお待ちしています。なお、申し込み最終締め切りは10月10日とします。(下野上1区長・武内正則)

操作もおまかせ
修理もおまかせ

タブレット相談室

こんにちは
ニュースおおくま
のお時間です！



7月から新しい番組「ニュースおおくま」が、くまちゃんねるに仲間入りをしました。大きなイベントから町のちょっとした情報まで月1回ニュース形式でお送りしています♪ぜひご覧ください！

タブレットの  をタッチして
大熊町関連 からチェック！

くまちゃんねるは毎週木曜日配信中☆

 **0800-800-0907**

通話無料(平日 9:00~17:00)

大熊町の避難状況

○人口及び世帯

	人口数	世帯数
平成23年3月11日時点	11,505	4,235
平成27年8月31日現在	10,782	3,927
増 減	△ 723	△ 308

●避難先の状況 (平成27年9月1日現在)

福島県内の主な避難先地域

いわき地域	会津地域	県中地域
4,439人	1,689人	1,240人

福島県外の主な避難先都道府県

茨城県	埼玉県	東京都
449人	397人	293人

大熊町公式サイト、 ブログ大熊町

を、ご利用ください！

大熊町公式サイト、ブログ大熊町では新着情報や重要なお知らせなどを随時更新しています。ぜひご覧ください。

大熊町公式サイト

<http://www.town.okuma.fukushima.jp/>

ブログ大熊町

<http://blog-okuma.jugem.jp/>

おくやみ申し上げます

2015年(平成27年)8月

死亡者名	年齢	住所
武内 幸二	90歳	諏訪
吉田 雪子	83歳	新町
佐々木 光雄	87歳	新町
関根 けい子	61歳	新町

死亡者名	年齢	住所
佐藤 真	68歳	高平
伊藤 文夫	73歳	向畑
松本 ヨシ	93歳	東平
田村 幹子	91歳	西大和久

●大熊町関連施設お問い合わせ先●

大熊町役場

●会津若松出張所

(総務課、企画調整課、税務課、住民課、福祉課、健康介護課、環境対策課、生活支援課、産業建設課、出納室、教育総務課、議会事務局)

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

TEL : 0120-26-3844 (フリーダイヤル)

FAX : 0242-26-3794

●いわき出張所

(生活支援係、住民福祉係、保健衛生係、復興事業課)

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

TEL : 0120-26-5671 (フリーダイヤル)

FAX : 0246-36-5672

●中通り連絡事務所

〒964-0915 二本松市金色421-10

オフィス・ウインドストリーム1F

TEL : 0120-24-1013 (フリーダイヤル)

FAX : 0243-24-1259

●現地連絡事務所

〒979-1306 大熊町大字大川原字手の倉125

坂下ダム施設管理事務所内

TEL : 0240-32-2318 FAX : 0240-32-5460

※現地連絡事務所では大熊町内の防火・防犯、一時立入者の補助業務を行っています。それ以外の業務につきましては、会津若松出張所またはいわき出張所、中通り連絡事務所へお問い合わせくださいますようお願いいたします。

大熊町コミュニティ支援事務所

●関東事務所 (梨の実スペース)

〒330-0062 さいたま市浦和区仲町2-15-4

アイリーセブンコート1F

TEL : 048-711-7135

●いわき事務所

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

大熊町役場いわき出張所内

TEL : 0246-88-9317

大熊中学校

〒965-0003 会津若松市一箕町八幡字門田9-2

TEL : 0242-23-7214 FAX : 0242-37-7157

大野小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186

TEL : 0242-75-2350 FAX : 0242-75-2352

熊町小学校

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中186

TEL : 0242-76-1821 FAX : 0242-76-1822

大熊幼稚園

〒969-3411 会津若松市河東町大田原字村中152

TEL : 0242-75-3150 FAX : 0242-76-1718

大熊町社会福祉協議会

●会津若松出張所

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

(大熊町役場会津若松出張所内)

TEL : 0242-29-5760 FAX : 0242-29-5761



町長室から 渡辺 利綱



9月初旬、約40人の町民とともに檜枝岐歌舞伎を観劇してきました。もともと檜枝岐村とは震災前に大熊町で檜枝岐歌舞伎を上演してもらったことがあるなど、交流が続いていました。お互いの子どもたちが行き来し、夏は海水浴、冬は雪遊びを楽しみました。また原発事故の直後には、避難所で体調の優れない子どもを村で静養させてもらうこともありました。ご縁に感謝する気持ちを込めて今回、一座にのぼり旗を贈りました。

村長が「これだけのものは、全国でもそう見られない」と自負する通り、歌舞伎は素晴らしいものでした。上演されたのは実の娘を手にかける男の話。見終えた町民の中には涙を流す方もいたほどの熱演でした。その後の直会(な

情熱

おらい)にもお招きいただきました。本番を終えた役者たちの安堵感とともに伝わってきたのは、歌舞伎に対する真摯さでした。若手の演者が、先輩に対し「次はもっといい演技を目指す」と誓い、先輩演者が応じて励ますのです。その姿に嫌味はなく、清々しく映りました。

270年以上の歴史を誇る檜枝岐歌舞伎。古里が大切にしてきたものを継ぐ若手がいることに、羨望の念を覚えました。私たちの古里は今、自由に足を踏み入れることすらままならない状況です。しかし、消えてなくなってしまうわけではなく、今も同じ場所にあります。子へ孫へ、どう残すのか。情熱的な檜枝岐の人たちの姿が、そのことを考えさせます。

●いわき連絡所

〒970-1144 いわき市好間工業団地1-43

(大熊町役場いわき出張所内)

TEL : 0246-38-8920 FAX : 0246-38-8921

●中通り連絡所

〒964-0915 二本松市金色421-10

(大熊町役場中通り連絡事務所2階)

TEL : 0243-24-1338 FAX : 0243-24-1339

大熊町商工会

〒965-0873 会津若松市追手町2-41

(大熊町役場会津若松出張所内)

TEL : 0242-29-5770 FAX : 0242-29-5771

埼玉県三芳町で小法師PR

震災後、大熊町に職員を派遣するなどして支援して下さった埼玉県三芳町の「第25回みよしまつり」が9月5日に開かれました。大熊町職員が会場にブースを設け、復興を目指す大熊のシンボル「おおちゃん小法師」をPRさせていただきました。

みよしまつりは約2000発の花火を打ち上げ、何万人もの来場者でにぎわう盛大なお祭りです。町職員は会場に100個のおおちゃん小法師を持参し、試験販売と絵付けを行ったところ、ほぼ完売となる人気でした。林伊佐雄町長にもご購入いただきました。

三芳町には、11月にいわき市で開催する大熊町ふるさとまつりに参加していただく予定です。

三芳町の皆さん、ありがとうございました。



檜枝岐歌舞伎を鑑賞



町の世代間交流事業、檜枝岐歌舞伎観劇会が9月5日に行われ、町民38人が檜枝岐村の伝統芸能を鑑賞しました。

同村とは震災前から交流があり、町文化センターで檜枝岐歌舞伎を上演したこともありました。震災直後には学習教育支援で小・中学生を受け入れていただいたほか、現在も小学生が毎年交流事業を行っています。公演に先立ち、歌舞伎を上演する千葉之家花駒座に、渡辺利綱町長がのぼり旗を寄贈し、日頃の感謝の気持ちを表しました。

上演で、町民の皆さんは、歌舞伎役者の迫力ある演技に圧倒され、大きな拍手を送りました。物語の世界に引き込まれ、感動の涙を流している方もいました。



クイズ「目指せ！おおくMASTER★」

おおちゃんクイズ A・4人

くうちゃんクイズ A・殴る

(熊川稚児鹿舞は4人の男の子と野猿役1人で構成されているよ)